

# いしづち

愛媛労災病院広報紙第3巻第1号

(通巻第19号)

2005年1月5日発行

発行人: 病院長 西岡幹夫

## 【愛媛労災病院の理念】

当院は働く人々のために、  
そして地域の人々のために  
信頼される医療を目指します



## 以医養己

病院長 西岡 幹夫

皆さんには良いお年をお迎えと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年を振り返るとき、われわれの病院は新しいチャレンジをした大変価値ある一年でした。さまざまな事が去来しますが、その中から私が選んだ三大トピック（これ等は今にも通じますが）を挙げてみましょう。第一は本格的な医療連携を開始した年；病床利用率、ならびに紹介率が高まり、多くの登録医の参加をえて、開放型病院となりました。愛媛労災病院は昨今良くなったと聞くたびに、皆さんの努力に感謝しています。第二は愛媛労災病院医学雑誌の創刊；病院小史として年々内容が充実することでしょう。第三は、実はこれが一番大きなニュースですが、独立行政法人化、労働者健康福祉機構となる；全国にわたる労災病院、看護専門学校、産業保健推進センターなどが新しく生まれ変わりました。労災病院が国策に沿った政策医療の一環として再確認され、さらに自主的に活動できる事柄が増えましたが、経営基盤は国の援助に頼らず、自力で確立することが求められます。理事長のメッセージにあるように、医療活動の更なる活発化、病院の収支両面にわたる改革など真摯な努力を積み上げていかねばなりません。従来とは異なった発想と手法が職員自身、各部門、ならびに病院全体にも必要となることは、今更、言うまでもないでしょう。

「以医養己」、これは私が香川医大に在籍した頃、同門会で披露した私の座右の銘です。われわれは日進月歩の医学、技術を学び、良い医療を提供することを旨としますが、さらに、己の性を養うことが大切という意味です。この考えは早稲田大学教授、歌人、会津八一の学規、「学芸を以って性を養う」、さらには、江戸時代の儒学者、中江藤樹の説く「それ学問は心の乱れを清め、身の行いを良くするを以って本来とする(翁問答)」からヒントを得ました。われわれの病院にはさまざまな職種の人々が日夜を問わず、医療に貢献しています。そのプロの皆さんに、蛇足ながら「医を学び、己を養う」という言葉を新年にあたりお送りしておきましょう。自主的に学び、本質を理解し、必然的に変わり、さらに成長してほしいのです。

皆さんには燃える医療人として益々、活躍されるよう祈念します。

# 愛媛労災病院 10大NEWS

新年あけましておめでとうございます。2005年も「いしづち」編集委員一同、頑張っています！さて、新年の特集としまして、昨年1年間の掲載記事から、10大ニュースを集めてみました。昨年を振り返りつつ、今年の計画を立ててみてはいかがでしょうか。

## 第1位

### 4月号 独立行政法人へ

4月より独立行政法人労働者健康福祉機構へ名称が変更になりました。



## 第2位

### 10月号 愛媛労災病院医学雑誌発刊

皆様のご協力により、医学雑誌第1巻を発刊することができました。



## 第3位

### 12月号 紹介率 30%達成

3カ月連続30%以上の紹介率を達成しました。

8月	31.2%
9月	32.2%
10月	35.1%
達成！！	

## 第4位

### 10月号 開放型病院

11月1日より開放型病院として承認されました。

## 第5位

### 7月号 ホームページ更新



## 第6位

### 1月号 NSTの発足

2003年9月に発足したNST。この頃活躍が目立ってきました。



## 第7位

### 11月号 患者満足度調査

病院の更なる発展の為に患者満足度調査を行いました。

## 第8位

### 6月号 看護の日

「看護の日」にちなんで、5月15日にフジグラン新居浜で、院外イベント（健康指導等）を行いました。



## 第9位

### 11月号 台風災害

度重なる台風の到来により、多くの被害を受けました。



## 第10位

### 7月号 勤労者医療総合センター

勤労者医療の充実を目指して、生活指導にも力を入れ始めました。



## 糖尿病週間

内科医師 幡中 雅行

数百万年に及ぶ人類の歴史のほとんどは、飢餓との長いたたかひでした。現代でも、依然として飢餓とたたかひ続けている人々は少なくありません。飢餓という環境のもとでも、生命を維持し子孫を残すという目的のために、人間の体は、巧みに環境に適応して進化してきました。少しでも余ったエネルギーはすべて脂肪というかたちに変えて皮下や内臓のまわりに蓄えてしまうという体のしくみが出来上がりました。われわれは飢えに強い遺伝子を引き継いで、今日に至っています。しかし現代日本のように、食べることに事欠かず、さらに自動車や電化製品の普及などで運動量が少なくなった環境のもとではこのしくみが裏目に出ることになってしまいました。脂肪の貯めすぎ、すなわち肥満になれば、体にはさまざまな負担がかかり、糖尿病や高血圧、高脂血症、冠動脈疾患など多様な健康障害につながります。

今回は11月18日に糖尿病週間行事として当院で公開糖尿病教室を実施しました。糖尿病と肥満に対する予防および早期治療が当院のテーマでした。薬局前で医師とコメディカルによる医療相談や身長・体重・体脂肪率・血糖値測定、血管年齢測定、展示を行ったところ、あいにくの天候の中140名程の方々が相談や測定に参加されました。講演としては2階大会議室において「糖尿病と肥満」のテーマで私がお話させ

ていただいた後、西麻希管理栄養士が「肥満を予防する食事療法」としてパワーポイントを活用したわかりやすい内容で指導していただきました。最後に行われた堀内桂理学療法士による運動療法の実演は市民の方々にも好評で全員参加型のさわやかなじみやすい内容でした。市民の皆様にとっても医療従事者側にとっても非常に有意義な一日であったと思います。

現代日本においてはもはや努力して取り組まなければ適切な食事や運動習慣を実行できない、「体のしくみ」に沿わない不自然な世の中になりつつあります。国のレベルでより活発に、糖尿病や肥満をはじめとした生活習慣病の予防をプロパガンダし国民に啓発していく必要性を感じます。今回のような活動が少しでも市民の意識の向上に貢献し生活習慣病の予防につながることを願います。



## 子供達への糖尿病講演

第2内科部長 中井 一彰

毎年11月第2週の月曜から日曜にかけては、『全国糖尿病週間』が設けられており、当院では糖尿病診療に携わる医療チームが中心となって、地域住民を対象に糖尿病関連行事を開催してきた他、市内の6病院(十全、住友別子、県立新居浜、新居浜協立、新居浜山内、労災)の医療スタッフで、『新居浜糖尿病地域医療研究会』を組織し、その一員として、新居浜市民に対する糖尿病の知識普及活動にも取り組んできた。平成16年度の糖尿病週間では、我々研究会は最近増加傾向にある子供の肥満および糖尿病に注目し、子供達を対象に正しい食生活や運動法の指導を行ない、糖尿病や肥満の防止を呼びかける講演を計画した。

小児の肥満は昭和30年代と比べるとその頻度は約3倍といわれる。小児の肥満のうち、幼児期以降の肥満は互いに連続し、学童肥満を経て思春期肥満、さらに成人肥満へと繋がり生活習慣病に罹りやすくなっていく。特に思春期肥満児の、中年以降の生活習慣病有病率は、非肥満児に比し高率であることから、思春期までに肥満を改善すれば、糖尿病など生活習慣病の発症予防に効果が期待できる。

そこで対象を思春期の子供達とし、中でも進学や就職を機に1人暮らしを始める機会の多い高校3年生を対象とした。高校の授業の一環として糖尿病や肥満について学んで貰いたいと考え、研究会に属する各病院のスタッフが、各々の地域の高校と交渉した結果、4高校で校内で

の講演許可を頂くことができた。

当院は県立東高校を担当し、放課後の50分間講演させて頂いた。内容は、まず糖尿病について知ってもらうため、ペットボトル症候群を取り上げ、ついで合併症の恐さを説明した。運動は有酸素運動が効果的であることを強調した。また、肥満を恐れるあまりやせ願望など誤った体重への認識を持たないように指導した。食事指導については、中野栄養管理室長に、1日の必要エネルギー量の算出法や、6つの食品グループからバランス良く食事を摂ること、さらには自炊に便利な調理器具、コンビニの賢い利用法等について講演して貰った。

各高校での講演終了後、アンケート調査を行なった結果、「参考になった」や「生活習慣病について興味を持った」という意見が90%以上を占めており、健康に関心が少ない子供達に、糖尿病等生活習慣病の予防策を啓発できたのではないかと自負している。こういった活動は継続することが重要であり、これから社会に巣立つ女子学生を対象に、『化粧講座』を開く高校もあるそうだが健康について指導することも必要ではないだろうか。来年以降も機会を頂ければ是非、健康をテーマに講演を行ないたいものである。

最後になりましたが、今回の講演に御尽力頂きました新居浜糖尿病地域医療研究会の皆様、発案者の中野栄養管理室長、そして貴重な授業時間を割き、我々の趣旨に御賛同頂きました各高校の諸先生方に厚くお礼申し上げます。

### 香川労災病院合同大災害総合訓練に参加して 庶務課長 佐藤 求

ある 10 月の暖かい日に香川労災病院の愛甲庶務課長から電話がありました。その内容は「今度ウチで消防署などと共に大規模な災害訓練をするケド参加しませんか？」というものでした。当院と香川労災病院は、お互い災害時の支援病院となっており、当日は当院で訓練しようと計画していたトリアージ訓練も行うとのことでした。これは絶好の機会と思ひ、すぐに参加の返事をしました。

参加者については、西山救急部長が一発快諾！看護部からも部長以下精鋭 3 名、それに薬剤師 1 名、事務部門 4 名、総勢 9 名となりました。

当日は、6 時 45 分に病院に集合し救急車とワゴン車に分乗し出発、7 時 45 分に香川労災病院に到着、香川労災病院の方と打合せ等の後、9 時に訓練が始まりました。

訓練は、消防署、消防団及び防災航空隊とともに、出動車両は、消防車・はしご車・救急車・防災ヘリ等 20 台以上、訓練参加者は、全体で 180 名を超えていました。内容は、初期消火訓練、トリアージ訓練、はしご車による救出訓練、防災ヘリによる屋上からの救出訓練さらに消防車による一斉放水など大規模なものでした。

当院スタッフもトリアージ訓練を行い、当院の救急車も患者を搬送するなど、十分に訓練に参加させていただきました。

訓練終了後に全体講評があり、丸亀消防長などの講評に続き、最後に香川労災病院の原田院長が「ビシッ！」と敬礼を決めたあと、参加者を慰労しながら訓練の感想を述べられ、愛媛労災病院の参加についてもありがたいお言葉をいただきました。

当院の災害訓練は消防署の立会いのもと 1 月 21 日 ( 金 ) に行う予定ですが、香川労災病院での訓練で得た経験を生かしたものにしたいと考えております。

最後になりましたが、訓練に参加いただいた職員の皆様ご苦勞さまでした。そして、香川労災病院の皆様、ありがとうございました。

P.S 帰り道で食べた讃岐うどん美味しかったです！



### 歯科からのお知らせ 3

やってみましょう正しいブラッシング - 前歯編 -

歯科衛生士 永易 啓子

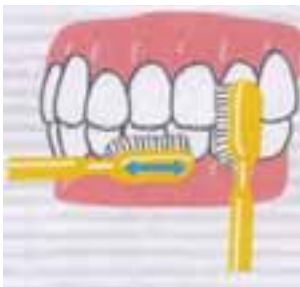


図 1. 前歯の外側を磨く時は、歯ブラシを鉛筆のようにもって歯と歯ぐきのさかい目に毛先を当て軽く左右に動かします。横磨きを大きくしたり、力が入りすぎていると歯の付け根が削れてしまうので要注意！！前歯のすき間は歯ブラシを立てて磨きます。



図 2. 上下の前歯の内側は、歯ブラシを縦に構えて磨きます。磨き残しに注意して！

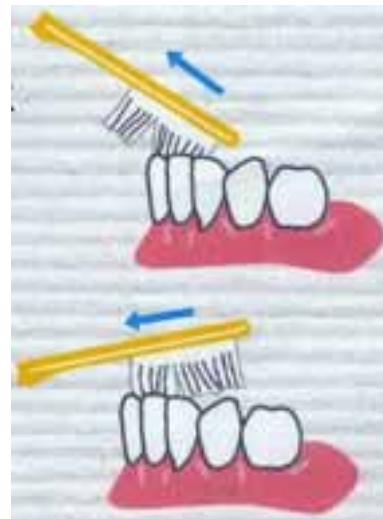


図 3. 前歯のすき間は歯ブラシを立てて磨きます。下の前歯の内側の付け根は、歯石もつきやすい所なので 1 本ずつついでに磨きましょう。下の前歯は歯ブラシの後ろ部分で磨くやり方もあります。

その他に普通の歯ブラシと併用してもらいたい<歯間ブラシ・デンタルクロス・細かい所を清掃するのに便利なワンタフトブラシ>など、補助的な道具もありますので、受診して頂ければ、その方に合ったブラッシング指導を行います。

### クリスマスコンサート

#### 患者サービス向上委員会

今年も恒例のクリスマスツリーが、労災病院1階薬局前メインホールに飾られました。

中庭のガラス窓一杯に飾られたツリー型の電飾とスノーアートは患者様、お見舞いの人がその輝きに目を見張り心暖かくなる広場になりました。

この広場で12月14日、90名余りの患者様、お見舞いの人に参加していただき盛大なゴスペルコンサートが開催されました。全8曲その歌声は1階ホールに響き渡り、行き交う患者様、お見舞いの人もしばし足を止めその歌声に聞き入っていました。

会場内では、歌を口ずさむ患者様もおられて会場全員の気持ちが一つになり、しばしの間、楽しいひとときを過ごす事ができました。

コンサートのフナーレには(きよしこの夜)を会場全員で合唱し、『また会いましょう』『私たちが早く元気になります』と盛大な拍手が送られる中、元気になって再会する事を約束し散会となりました。



### 私の仕事

#### 管理栄養士 清水 亮

こんにちは。栄養士の清水です。私の仕事は大きく分けて2つあります。1つは病院食の献立作成と衛生・安全管理。もう1つは入院・外来患者様の栄養相談です。それから、入院中の低栄養患者様の栄養管理をチームで行う栄養サポートチームに参加したりもしています。大まかな業務内容はこのようなもので、それぞれを細かく話すのもよいのですが、ここでは私が「私の仕事」である栄養士の仕事をどう思っているのかをお話したいと思います。

栄養士は英語で dietitian です。日本では「減量」の意味で使われ、本来は「日常の食物」という意味の diet から派生しています。さらに掘り下げて diet はと言うとギリシャ語の diata からきており、意味は「人の生き方」です。「人の生き方」は「日常の食物」と深く関係しているので、diet は diata を語源としていると言われていています。この dietitian の語源は私の病院栄養士観となっているもので、『病院において入院患者様の「日常の食物」は病院食であり、それを通して「人の生き方」に深く関与するのが「栄養士』と自分なりにつなぎ合わせて考えています。

最近、病院における栄養管理の重要性が全国的に見直され、栄養士業務も変わってきています。元々は食糧調達部の一員だった栄養士が、治療食を介して積極的に病態改善に関与するようになり、今では患者様のベットサイドへ赴き、栄養状態の評価や栄養補給法の議論に参加したりしています。しかし、業務内容に変化はあっても、栄養士が調理師と伴に患者様に喜ばれるおいしい食事提供をしていく部分は変わりません。患者様の病状が良くなるように、また患者様がより生理的に栄養補給できるように病院食を発展させていくこと、そしてその食事を通じて患者様の健康をサポートし、生活の質の向上に貢献していくことが、今も昔も変わらない栄養士の仕事だと私は考えています。

次回は北4病棟岡本文枝師長補佐にお願いします。外からは見えない補佐さんの仕事に迫ります。

### 愛媛労災病院市民公開講座「健康教室」予定表

会 場：愛媛労災病院南館2階・大会議室

時 間：15：00～16：30

回数	開催年月日	演 題	講 師	座 長
第 17 回	H17.01.20 木曜日	<b>狭 心 症</b>		森重 副院長
		① 狭心症	佐藤 循環器科部長	
		② 心臓病の薬について	福田 主任薬剤師	
第 18 回	H17.02.17 木曜日	<b>脳 卒 中</b>		多田羅 リハビリテーション科技師長
		① 脳卒中	篠原 脳神経外科医師	
		② 床ずれについて	大山 看護師長補佐	
第 19 回	H17.03.17 木曜日	<b>花 粉 症</b>		宮崎 薬剤部長
		① 鼻炎について	辻田 耳鼻咽喉科部長	
		② 結膜炎について	西岡 眼科医師	
第 20 回	H17.04.21 木曜日	<b>巻 き 爪</b>		森重 副院長
		① 巻き爪	黒住 形成外科部長	
		② 未定	未定	
第 21 回	H17.05.19 木曜日	<b>歯 周 病</b>		西岡 院長
		① 歯周病	千葉 歯科部長	
		② 正しい歯の磨き方	永易 歯科衛生士	
第 22 回	H17.06.16 木曜日	<b>高尿酸血症 (痛風)</b>		西岡 院長
		① 高尿酸血症	中井 内科部長	
		② 痛風を予防する食事	清水 管理栄養士	

栄養関係功労者知事表彰受賞

栄養管理室 中野 恵子

この賞は、「多年にわたり地域住民の栄養改善に尽力した功績」として県知事から授与されたものです。栄養士として県民の健康増進のために、微力ながら頑張ってきたことが評価されたものと思います。これは職場の方々や先輩、同僚のご支援・ご協力の賜物であり深く感謝しております。



患者様におせち料理提供

栄養管理室 調理主任 土岐 陽

少しで多くの入院患者様にお正月の雰囲気味わって頂くため、私達栄養管理室一同は、治療食の方にも食事基準に合わせた内容で、心を込めておせち料理を作りました。



病診連携室より

皆様、あけましておめでとうございます。昨年は、病診連携室にとって、まさに飛躍の年であったように思います。近隣医療機関の先生方をお招きして開催した、第1回の病診連携懇話会を始めとして、開放型病院の開設、そして何より病診連携室を立ち上げて以来、ずっと目標にしてきた紹介率30%の達成。これらの成果をあげることができたのも、すべては皆様のご協力の賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。

今年は更なる地域連携の強化を目指して、院外の皆様と交流できる機会を、様々な形で企画していければと思っています。院内を始めとして、各方面からのご意見をお聞きしたいと思っておりますので、何かご意見があれば病診連携室までお願いします。今年も病診連携室一同、頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(病診連携室 秋岡)

庶務課からのお知らせ

- 人事異動 -

【退職】

(11月30日付)

北4階病棟助産師 柳原 真紀 (嘱託)

(12月31日付)

心臓血管外科医師 花田 明香

北4階病棟助産師 福田 睦子

手術室看護師 篠原 あけみ

透析室看護師 萩尾 理恵

【採用】

(12月6日付)

外来看護師 山崎 久美子 (嘱託)

(12月13日付)

外来看護師 松村 さやか (嘱託)

(1月1日付)

心臓血管外科医師 林 雅規



労働者健康福祉機構  
理事長 伊藤 庄平

冬の日本海が広がる窓辺で黙々と毛糸を編む女性。静かに毛糸を編み続ける女性を見るとき、聖母像の前に立つような気持ちになることがあります。セーターや手袋の一目、一目に込められる女性の想いに畏怖の念を感じてしまうのです。我が子の健やかを祈る気持ち、恋人の無事を祈る気持ち、それは、背後の日本海のように広く、また深いものなのでしょう。そして、ときには冬の日本海のように激しく波立つこともあるのでしょう。

今月の一句  
毛糸編む

人の背にある

日本海

編集後記

酉年の春、明けましておめでとうございます。皆様よいお年を迎えられたことと思います。「つい、おせち料理やお屠蘇をいただき過ぎて胃の調子が…」などと言う声が聞こえてきそうですね。「七草がゆ」を食べると病気になるという言い伝えがあります。「おかゆ」で胃腸をやすめ、「春の七草」で冬に不足しがちなビタミンを補います。健康のためにぜひいただいて下さい。昨年は、独立行政法人労働者健康福祉機構愛媛労災病院となり、信頼される医療を

目指して職員が一丸となって頑張っておりました。10大ニュースにあげられているように、地域に開かれた病院、働く人々の為の病院に向けて変化しています。今後は、労働者健康福祉機構としての組織の成果がもたらされ、5年毎に第三者による経営の評価が行われます。広報紙「いしづち」は、病院の動向や各部署や委員会活動などの紹介記事や載せることで、広く病院内へ情報を伝達しあい、交換できる場として編集してまいります。皆様からの情報をお待ちしています。(H・M)

広報紙編集メンバー

病院長(西岡幹夫), 医局(宮本和久, 稲見康司, 木戸健司), 看護部(峰平一二美, 山根千春), 庶務課(佐藤 求, 稲富小百合), 医事課(秋岡裕子), 薬剤部(伊丹元治), 放射線科(正岡憲治), 検査科(近藤雅子), リハ科(小川進太郎), 栄養管理室(清水 亮)